

人つどい 人つながり 人はぐくむ 交流の場

茜が丘複合施設「Miraie」



miraie

〒677-0057西脇市野村町茜が丘16-1 ☎0795-25-2800(代表)、☎25-2220
こどもプラザ(☎25-2801) 男女共同参画センター(☎25-2800) 図書館(☎23-5991)
コミュニティセンター重春・野村地区会館(☎25-2100) / 休館日=毎月最終水曜日

Miraie 行事予定

■女性のための悩み相談

◆とき=4月21日(木)午後1時30分~3時30分◆ところ=男女共同参画センター

■にしわきおもちゃ病院(おもちゃの修理)

◆とき=毎月第3土曜日午前9時~正午
◆ところ=工芸室◆修理できないもの=エアーガン、浮輪、100Vに直結するもの、骨董工芸品等◆費用等=原則無料。部品代等がかかる場合あり◆問合せ=こどもプラザ(☎25-2801)

■図書館おはなしのへや

ところ=いずれも図書館おはなしのへや
①えほんのじかん
◆とき=毎週水曜日午前10時30分~11時
※毎月最終水曜日は休館のため翌日

②おはなし会

◆とき=毎週土曜日午前10時30分~11時

③大きな子のおはなし会

◆とき=4月9日(土)午後2時~2時30分/毎月第2土曜日

■播州織で小物を作ろう

◆とき=4月10日(日)午前10時~11時30分◆ところ=こどもプラザ

4月の休館日は:4月27日(水)です

あそびの広場

■こどもプラザ(Miraie内) ☎25-2801

みんなの広場=11(月)・22(金)、工作の広場=4(月)・25(月)、ベビーの広場=6(水)、ふぁみりーの広場=2(土)、おしゃべりの広場=18(月)

■あいあいランド(総合市民センター2階)

☎22-4150
みんなの広場=5(火)・27(水)、工作の広場=12(火)・21(木)、ベビーの広場=14(木)、ふぁみりーの広場=16(土)

■へそっこランド(黒田庄福祉センター3階)

☎28-5702
みんなの広場=13(水)、工作の広場=7(木)、ベビーの広場=27(水)

※いずれも午前10時30分~

親子でスキんシップ
こどもプラザでは、室内遊具で自由に遊べるほか、工作や折り紙などさまざまなイベントを開催しています。
例えば、乳幼児が多い時は、その親子を対象にスキんシップを楽しみ時間を持つこともあります。大きなボールプールで、ボールの心地よさの中で大好きなお母さんの優しい歌声が聞こえると、子どもたちの顔もほころびます。子どもにとってお父さんやお母さん

子育てコンシェルジュからのメッセージ

西脇市では「こどもプラザ」に子育てコンシェルジュを配置し、子育て中の保護者へ総合的なサポートを行っています。

んと過ごす時間は何よりも嬉しいひとときなのです。このように簡単な「リズムあそび」ですが、遊びを通して保護者同士も親しくなっています。
3世代パパ育て事業「パパ講座」では、お父さんとのふれあい遊びの中で新聞紙を使って楽しみました。費用をかけなくても親子で楽しめる遊びは身近にたくさんあります。日々の生活は仕事や家事、育児に多忙ですが、少しの間でも親子で触れ合える時間



3世代パパ育て事業

が持てるというですね。
昨年度はイベントや3世代パパ育て事業を通じて、父親の育児力向上や地域の方々の関わりを大切に事業を展開してきました。今年度も安心して過ごせる遊び場の提供と子育てに役立つ楽しい企画を予定しています。お楽しみに！

西脇おやこ交流教室生募集

親子のふれあいを深め、友だちの輪を広げてみませんか。
▼参加費 無料(材料費等実費負担あり)▼申込方法 こどもプラザ等にある申込用紙に必要事項を記入して左記へ提出してください。用紙は市ホームページからもダウンロードできます▼その他 左記「平日版」「休日版」重複登録可▼申込み・問合せ こどもプラザ(茜が丘複合施設内/☎25-2801)▽へそっこランド(黒田庄福祉センター3階/☎28-5702)
○平日版西脇おやこ交流教室
▼対象 乳幼児(0~5歳)と保護者や祖父母▼活動日 月2回午前中▼活動場所 市内公共施設等▼開級式 平成26年度生まれ4月12日(火)、平成27・28年度生まれ4月20日(水)、平成23・24・25年度生まれ4月21日(木)。いずれも午前10時30分から茜が丘複合施設みらいえで開催
○休日版西脇おやこ交流教室
▼対象 市内の乳幼児(0~5歳)と保護者や祖父母、働く保護者と子ども▼活動日 月1回土曜日または日曜日の午前中▼活動場所 市内公共施設等▼開級式 4月23日

未就園児親子がおもちつきに挑戦

昔は家庭や地域で体験できた餅つき。近年そういった機会が少なくなっているため、子育て中の親子を対象に、こどもプラザで餅つきを企画。114人の親子が高齢者大学生やシルバー人材センターの皆さんと一緒に餅つきに挑戦しました。
初めてきねを持つ親子がほとんどでしたが、会場の皆さんから応援を受けて元気いっぱいお餅をつきました。参加者は「つきたてのお餅がこんなにおいしいとは…。子どもも自分がついたお餅なので喜んで食べました」と話されていました。
また、ご協力いただいた高齢者大学の皆さんからは「子どもたちが喜ぶ姿を見て元気をもらった」とうれしい言葉をいただきました。
餅つきを体験する親子



餅つきを体験する親子

今月のおすすめ図書

『桜守のはなし』

佐野藤右衛門/著 (講談社)



桜のいのちを守るしごと「桜守(さくらもり)」として全国を飛び回り、傷ついた桜の手当てをしている佐野藤右衛門さん。

この本は、「桜を守ることで木の命をつなぐということはどういうことか」を日々の仕事を通して子どもたちに伝えています。

淡く美しいピンクの桜が見開きいっぱいに広がる春の写真のほか、桜守の仕事を写真で紹介する絵本です。

西脇市の「市の木」である桜。命をつなぐ…という思いを持って眺めてみることも必要ではないでしょうか。

男女共同参画センターから

第3回西脇市男女共同参画セミナー「もっとすてきに“プラチナエイジ”~輝くシニアライフを過ごすためのコツ教えます~」を開催

大阪樟蔭女子大学教授で医師の石蔵文信さんをお招きし、「プラチナエイジ」と呼ばれるシニア世代について理解を深め、生き生きと過ごすためのコツをお伝えいただきました。

「男性の方には耳の痛いお話かもしれませんが…」という前置きから始まり、「わしも族」「濡れ落ち葉」などの言葉を用いて、定年退職を迎えた男性が行き場を失い、パートナーに依存する事例を辛口ながらユーモアを交えて紹介されました。ご自身も60代で、自ら講師をつとめる男の料理教室、趣味や孫育てなども紹介。そのアクティブな生活に会場からは感嘆の声が聞こえてきました。最後にはパートナーとの上手な関係の築き方やシニア世代を計画

的に自立して過ごす必要性についてお話いただきました。
毎日を生き生きと過ごすためには心身の健康が第一です。講演会の前には、杉本麻貴さん(コープスポーツ専属ヨガ教室講師)に家庭でもできる簡単なヨガのポーズと呼吸についてご指導いただきました。

この講演会をきっかけとして、パートナーがお互いを理解し、よりよい関係を作り、生き生きと健康にご活躍されることを祈っています。

